

金属価格上昇が影響

..... おくちの 相談室

【答え】保険治療で使われ

ている銀歯は、金銀パラジウム合金でできています。組成はおおむね銀50%、金12%、パラジウム20%の割合です。パラジウムはロシアが世界生産量の4割を占めるため、ロシアのウクライナ侵攻に伴う今後の供給不安から価格が急

が上がっています。

元々、金銀パラジウム合金の価格上昇はウクライナ侵攻前から進んでいました。1995年頃30万円弱だったものが、現在は10万円前後と約10倍になっています。保険の銀歯の価格は、使う金属の価格変動を加味して決められています。今月からの診療報酬改定では2年前と比べ、奥歯の銀歯の窓口負担額が3割負担の場合で1200円程度増えました。さらに今月13日、ウクライナ侵攻に伴う緊急改

定が決まり、5月からは数百円の上乗せによる負担増が見込まれています。

実は、現在の国内のパラジウム需要の大部分は自動車の排ガスの浄化用触媒です。パラジウム価格の高騰で、同じように浄化用触媒として使えるプラチナへの代替が進むことも考えられますし、廃車からのパラジウム回収もあります。このため、すぐにパラジウムがむし歯治療に使えなくなることはないという見方が一般的です。

さらに、近年は貴金属の使用を避け、セラミックの微粒子で強化した樹脂を使った治療や、チタンを使った治療も保険診療に導入されました。引き続き、むし歯の治療は安心して受けられると思われ

れます。

ただし、昔に比べると安価な治療ではなくなり、むし歯にならないことが重要であることは論をまちません。かかりつけの歯科医院で定期的な管理を受けることをお勧めします。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒85521-86001、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

ウクライナ情勢で銀歯高騰？

回答者

宮田 浩光

長崎市竹の久保町
みやた歯科医院長



【問い】ウクライナ情勢のために銀歯の費用が高くなると聞きました。今後、問題なくむし歯の治療が受けられるか心配です。
(長崎市、64歳女性)